

7月の展示 6月23日(火)～7月26日(日)まで

1階 ロビー 一般展示

50年分のベストセラーと
芥川賞・直木賞受賞作品が大集合！

開館50周年を祝して、開館した
1976年から今までのベストセラー、
芥川・直木賞の受賞作を集めました。

2階 一般展示

本で楽しむワールドカップ

サッカーワールドカップ関係の本を
展示します。開催国であるアメリ
カ・カナダ・メキシコに関連する本
も合わせて展示しています。

1階 ロビー CD展示

ワクワク！アニメ・特撮・
ゲームミュージック

3つのジャンルの音楽を聴いて、
楽しい時間をすごそう！

2階 地域資料展示

東京凸凹&散歩が楽しい道

凸凹した地形と散歩して楽しい道を
ご案内します。

1階 ティーンズコーナー

平和台図書館 夏期講習
古典・歴史編

夏休みは学問を究める大チャンス！
7月は、古典や歴史を楽しく学べる
本の特集です。

2階 こどもコーナー展示

今日は おめでとうのひ

おたんじょう日などつくべつな日
をおいわいる本を集めました。

2階 こどもコーナー特集

夏だ！学ぼう！ 7/8～7/31

なつやすみのしゅくだいはお早
めに♪べんきょうにやく立つ本
を集めました。

「地域の想いをつなぎ・引き継ぎ・ひろげる図書館」

平和台図書館は、本年7月1日をもちまして開館50周年を迎えることとなりました。日頃よりご利用いただいている地域の皆様方、ご支援・ご指導いただく関連団体の皆様に心より感謝申し上げます。

この機会に、関係資料を改めて見返し、関係者の皆様へのインタビュー等を通じて、50年前に地域住民の運動がきっかけに誕生した平和台図書館の当時の様子や、現在に至るまで引き継がれてきた図書館サービスの歴史に想いを巡らせました。人々の想いを形にし、それを継続し時代に即して変化させていくということが、どれほど大切なことなのかを改めて感じ、身が引き締まる想いです。

当館のコンセプトである「地域の想いをつなぎ・引き継ぎ・ひろげる図書館」を実現するため、来館者のお一人おひとり、近隣の施設・関連団体、ボランティアの皆様、図書館スタッフが日常の中でゆるやかに関わりながら、これからも時代に即した事業を提案してまいります。職員一同、皆様のご来館をお待ちしております！！

平和台図書館 館長 植木徹

7月のイベント

♠大人のイベント

第9回 知って触って作ってみよう ちがや馬飾り【抽選】

7月20日(月・祝日) 午後2時～3時30分 定員：15名

受付締切：7月11日(土) 場所：3F会議室

講師：丹波幸男氏(「ちがや馬飾り」制作技術保持者・伝承者)

平和台寄席【抽選】

7月26日(日) 午後4時～5時 定員：40名

受付締切：7月17日(金) 場所：3F会議室

出演：真打 立川志の春

♡こどものイベント

なつのおたのしみ会

7月4日(土) 午前10時30分～11時15分 定員：80名

受付：当日(申込不要) 場所：3F会議室

対象：3歳から小学生と保護者 出演：人形劇団 夢まあるく舎

検索くん【抽選】

7月21日(火) 休館日 定員：各回4人 受付締切：7月8日(水)

場所：平和台図書館

①5才～小学1年生 9時30分～10時30分

②小学2年～4年生 11時～12時

◇事前申込制のイベントは全て抽選です

カウンター・電話・練馬区立図書館ホームページにて申込ください。

定員に満たない場合、カウンター・電話で先着順で受付を継続します。

◇イベントの詳細はチラシ・ポスターをご覧ください、電話でお問合せください。

熱中症特別警戒アラートが発表された場合、イベントは全て中止します。

熱中症警戒アラートの場合でも中止の可能性があるので、お問合せ下さい。

令和8年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1 よみきかせ	2 おひぎのうえのおはなし会	3	4 なつのおたのしみ会
5	6	7	8 よみきかせ	9 ブックスタート	10	11
12 ブックスタート	13 休館日	14	15 ペレではじまるおはなし会	16 おひぎのうえのおはなし会	17	18 ちょこつとよみきかせ
19	20 ちがや馬飾り	21 休館日 検索くん	22 こうさく会	23 ブックスタート	24	25
26 平和台寄席 よみきかせ	27 休館日	28	29 よみきかせ	30	31	

平和台図書館

へいわだいだより

令和8年7月号 Vol.119



開館50周年特別号



開館初日の写真 提供：練馬区

今の特集

開館50周年特別インタビュー たんぽぽ、おはなしの会、ブックスタートの会

開館50周年を記念して平和台図書館とともに
歩んできた3つの団体にお話を伺いました。
それぞれの歩みと想いをご紹介します。



50周年特別インタビュー

地域とともに歩んできた図書館

平和台図書館は、今年7月に開館50周年を迎えました。

この節目に、長く図書館の活動を支える3つの団体にお話を伺います。

布の絵本を作る「たんぽぽ」、赤ちゃん絵本をつなぐ「ブックスタートの会」

子どもたちにお話の時間を届ける「ねりまおはなしの会」。それぞれの活動から

平和台図書館が地域の皆さまとともに歩んできた50年を見つめます。

布で絵本をつくる会

たんぽぽ

布と会話を重ねて、一冊の絵本に



1992年11月、布の絵本講習会をきっかけに生まれたサークル「布で絵本をつくる会 たんぽぽ」。以来、平和台図書館を拠点に布の絵本づくりを受け継いできました。

布の絵本は、やわらかな手ざわりに加え・触る・動かす・取り外すといった、紙の絵本とは異なる楽しみがあります。既存の型紙をもとにした制作が中心でしたが、現在は物語や絵、題名まで自分たちで考えるオリジナル作品も増えています。

制作ではメンバーがページを分担し、色や素材、しかけを相談しながら一冊に仕上げます。特に大切にしているのは安全です。外れやすい小さな部品を避け、作業後には針の本数を確認するなど、子どもたちが安心して手に取れるよう細心の注意を払っています。

現在は、開館50周年を記念した館のマスコット「へいわんクン」の布の絵本を制作中です。表情やしかけをどう表現するか、アイデアを出し合いながら一針ずつ形にしています。



開館50周年を記念した「へいわんクン」の布の絵本を制作中。どんなおはなしになるのでしょうか!? 完成をどうぞ楽しみに!

平和台 ブックスタートの会

赤ちゃん絵本をつなぐ、最初の一歩



練馬区のブックスタート事業は2002年4月、図書館・保健相談所・地域ボランティアの三者の連携で始まりました。「平和台ブックスタートの会」も立ち上げ当初から関わり、親子を温かく迎える活動を続けています。

4か月児健診で案内を受けた親子を迎え、読み聞かせやわらべうたを交えながら、絵本の入ったブックスタートパックを手渡します。大切にしているのは絵本を通して親子が楽しい時間を分かち合うこと。そのきっかけになればと願い活動しています。

図書館で行うことで、「図書館が赤ちゃんと一緒に利用できる場所」だと知ってもらう機会にもなります。ブックスタートは、赤ちゃん絵本をつなぐとともに、親子と図書館をつなぐ入口です。

活動を始めた頃に比べ、今では父親の参加も自然な光景になりました。これからも、子育てを取り巻く変化を見守りながら活動を続けていきます。



赤ちゃん絵本と保護者へ手渡されるブックスタートパック。絵本を通して、親子のふれあいを応援します。

写真掲載資料(令和8年度のセット)
文：松谷みよ子 文・絵：齋藤 楨
絵：瀬川康男 出版社福音館書店
出版社童心社

ねりまおはなしの会

声と言葉でひらく、おはなしの世界



「ねりまおはなしの会」は、1979年に公民館講座「子どもと本とおはなし」の受講者によって誕生し、昔話や創作のおはなしを声で届けるストーリーテリングの活動を続けています。

平和台図書館では、ベルの合図で始まる「ベルではじまるおはなし会」※を担当。また、ブックスタートに先がけて、乳幼児と保護者が絵本やわらべうたを楽しむ「おひぎのうえのおはなし会」を始めました。ストーリーテリングでは、聞き手は言葉に耳を澄ませ、場面や登場人物を自由に思い描きます。語り手と聞き手が同じ空間で、おはなしの世界をつくっていくことが魅力です。

赤ちゃんの頃から兄弟で参加し、小学校高学年になった時にお父さんも一緒におはなしを聞きに来てくださったご家族がありました。子どもたちの成長を見守りながら時を重ねられたことは、今もメンバー全員の心に残る大切な思い出です。これからも、語り手と聞き手がともにつくる時間を大切にしながら、子どもたちの想像を広げるおはなしを届けていきます。



手話通訳者とともに「手話付きおはなし会」も行っています。声と手話が重なり、語りの世界がより豊かに伝わります。

※「ベルではじまるおはなし会」は現在ベルの合図ではじまりますが、以前はろうそくに火を灯して始めていました。